

ろうさいひろば

For Healthy Aging , nagasaki rosai hospital

～私たちはヘルシーエイジングに取り組んでいます～

Contents

新任のご挨拶 副院長 前田 茂人	2
新任のご挨拶 看護副部長 亀田 さつき	3
医療トピックス 第二麻酔科部長 大路 牧人	3
新任医師の紹介／退職のお知らせ	4
新人インタビュー	4
ヘルシーエイジングについて	5
長崎ISLSコース、PCEC/PSLSコースを開催しました!! ..	5
口腔ケアについて	6
消防隊との症例検討会について	6
中央リハビリテーション部だより【vol.2】	7
私の趣味「労災フィッシングクラブ(非公認)」	7
各科外来診療担当医師一覧表	8



独立行政法人 労働者健康安全機構

長崎労災病院

広報誌

季刊夏号
2023.7

病院の理念と基本方針

【理念】

『勤労者と地域の皆様に良質な医療を提供します』

【基本方針】

1. 人権を尊重した患者中心の医療の実践
2. チーム医療に基づいた安全で専門的な医療の推進
3. 地域に根づいた急性期医療の提供
4. 早期社会復帰への支援
5. 予防医療による健康づくりへの貢献
6. 治療と仕事の両立支援及び産業保健活動の推進

【看護部 理念】

対象のいのち・くらしに寄り添い、誠実な看護を提供します。



新任のご挨拶

副院長 前田 茂人



このたび令和5年4月より赴任した外科の前田茂人です。副院長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

自己紹介: 私は大村出身で、1987年に長崎大学を卒業し、長崎大学第二外科に入局いたしました。大学卒業後は、長崎大学病院、長崎市民病院、山口県立中央病院、浜松医療センターで6年間の一般外科研修を行い、その後8ヶ月原研細胞で基礎研究を行い、米国ロスアンゼルスとシンシナティに3年2ヶ月間留学しました。

長崎大学時代: 1998年に長崎大学第二外科へ戻り、1999年より教授命で乳腺・内分泌班のチーフとして甲状腺や乳腺疾患に関わりました。当時、甲状腺内視鏡手術が開発された時期であり、長崎大学でも開始しました。特に、バセドウ病、甲状腺良性腫瘍、副甲状腺腺腫に対して200例の経験をしました。国際協力としては、原研細胞がらみでカザフスタン(旧ソ連時代にセミパラチンスクパラで400回以上の核実験が行われた)へ20回以上渡航し、甲状腺や乳腺疾患との被曝との関連調査および講義や手術を行いました。ロシアへも行ったことがあります。現在のウクライナとの紛争で原発事故が起きないか心配です。

長崎医療センター時代: 2007年より2023年まで乳腺・内分泌(特に甲状腺と副甲状腺)疾患の治療に携わってきました。乳癌に対する化学療法やホルモン療法は、標準治療と呼ばれる最新の治療が刻々と変化してきています。

大学時代にも臨床試験には参加していたのですが、長崎医療センターでは JCOG乳癌グループに参加できたことは病院として、また個人としても有益でした。JCOGでは、ガイドラインを変える臨床試験を立案、遂行していきます。とてもレベルの高い臨床試験なのですが、手弁当で国立がんセンターへ16年間参勤交代しておりました。九州では JCOG乳癌グループに参加できる施設は4つ(当初は3施設)だけであり、長崎医療センターという田舎でも、都会の大病院と同レベルの臨床試験ができるよう腐心しました。そのほか、多くの全国レベルや九州レベルの臨床試験に参加し、目の前の患者さんや未来の患者さんに対して最新かつ有用な医療が提供できるよう努めてきました。臨床試験に参加していただいた患者さん以外にも、看護師さん、薬剤師さん、クラークさん、放射線技師さん、栄養士さんにも協力していただき、今でも感謝しています。

私の考え: 乳癌や甲状腺疾患を中心として3300例の手術症例を執刀または指導し、内訳は乳癌2000例、甲状腺1300例となりました。安全な手術で元気に退院し、外来ではガイドラインに準じた薬物療法を提供するように努めてきました。今後は、労災病院外科で扱う乳癌、胃癌や大腸癌にも同じスタンスで臨むよう外科全体で対処していきたいと思えます。

医療の目的は、①生命予後を伸ばす ②QOLを高める この二つにつきると考えています。癌や慢性疾患の方が長生きできるようにエビデンスに基づいた手術や薬物療法を提供し、症状緩和に繋がるヘルニアや急性胆嚢炎や急性虫垂炎などの炎症性疾患に対する外科治療や薬物治療、そして患者に寄り添った看護やリハビリ、栄養管理などの介入が QOL向上には重要です。「その人がその人らしく」生きられるよう、チーム医療として多職種で患者さんに関わりたいと思えます。長崎労災病院の目標に「For Healthy Aging」があります。労災病院に入院された方が、退院後その人の生命予後や QOL向上につながり、自立して社会参加され、身体的・精神的な健康維持ができる一助になれば幸いです。

「労災病院に入院したらむしろ病気になる前より身体も心も元気になりました」と、患者さんに言っていただけの、そんな医療を届けられたら本望です。

新任のご挨拶

看護副部長 亀田 さつき



今年4月から、長崎労災病院に赴任しました。出身は佐世保から約570km離れた「ゲゲゲの鬼太郎」のまち、鳥取県境港市です。3年前、関門橋を渡って九州労災病院で経験を積み、さらに西の端、佐世保市までやってきました。中国道～九州道と高速道路を經由して、愛車で7時間の運転ができる体力が、まだあったことにも驚いています。近くに海と山のある土地柄は、生まれ育った環境と通じるところも多く、また佐世保弁の優しく温かい言葉遣いに迎えられて、充実した毎日を過ごしています。まだ土地勘がないので、これから近隣地域や開けた海に浮かぶ島々まで、開拓してみようと画策中です。

長崎労災病院では「ヘルシーエイジング」に取り組んでいます。今年度、看護部ではこの取り組みの一環として、「食べる」ことを大切にしていきたいと考えています。「食べる」ことは、体の機能を維持・改善していくために必要なエネルギーを得ることに直結します。「食べる」ために、口の中の環境を整えること、食べる(嚥下)機能を維持すること、食べる意欲を支えることなど、看護の力でできることがたくさんあります。以前、病状的には在宅での療養は難しい状態の患者さんの、“病院の食事ではなく奥様の作るごはんが食べたい”という思いを、医師・病棟スタッフが受け止め、在宅看護・介護を支えるスタッフと協働して、在宅療養を支援しました。後日、経過連絡とともに添えられた写真には、自宅で奥様の作る大好きな料理を、愛する家族に囲まれ、一緒に食べている姿がありました。病院のベッドサイドで見たどの表情とも違った、キラキラとした瞳とあふれる笑顔が今でも心に残っています。こうした経験からも、「食べる」ことを基盤にして患者さんのいのち、暮らしに寄り添い、住み慣れた場所で生きがいを持って生活できるよう支えていきたいと考えています。

「食べる」ことに因んで、個人的には、佐世保バーガー、シュークリーム、海鮮などなど、佐世保の美味しいものをたくさん食べたいと思っています♡

ペインクリニックについて

第二麻酔科部長 大路 牧人

麻酔科外来で行っているペインクリニックは、手術などが必要でない、もしくはできない場合などに対応する、難治性の痛み疾患を治療する部門です。三叉神経痛、帯状疱疹関連痛、頸肩腕痛、腰下肢痛などの痛みに対して、神経ブロックによる治療を行っています。神経ブロックには、パルス高周波法や高周波熱凝固法など、より長期的な効果を得る方法もあります。当科では、ペインクリニック専門医が中心となって治療を行っています。もし長期にわたる痛みに悩まされている方は、一度ご相談ください。当科がお手伝いします。



New Face **新任医師の紹介**
6月2日付け採用

循環器内科
たに しんたろう
谷 真太郎 長崎大学 H28.3卒

患者第一を信条に診療して参ります。

退職のお知らせ 6月1日付け退職

役職	氏名
循環器内科 (第二循環器内科部長)	貝原 宗平



New Face **新人インタビュー**

5 東病棟看護師

毎日笑顔で患者さんやスタッフのみなさんと関わっていききたいです。がんばります!!
A・F
患者さんから頼りにされる看護師になれるように何事も全力で頑張ります!!
M・N

7 東病棟看護師

自分のできること、やるべきことを考えて主体的に行動する。
K・U
自分なりに少しずつ学んでいき、業務に活かしていきたいと思います。
J・W

ICU 病棟看護師

先輩方のように患者さんの立場で考え、寄り添える看護師になりたいです。
H・M
困った事はすぐに先輩に相談して解決し、できることを増やしていきます。
Y・T

6 西病棟看護師

一年目で不安なことも多いですが仕事を一つ一つ覚え、責任を持って患者さんの回復を手助けできるよう頑張ります。
N・T
教わったことを一つ一つ吸収して、患者さんの苦痛を少しでも軽減できる安全な看護を提供できるように頑張っていきます。
Y・Y
先輩方に色々な事を教えてもらいながら、一人前の看護師になれるように頑張ります。毎日笑顔で明るく元気に頑張りますのでよろしくお願いいたします。
H・N

医事課

どんどん吸収して、早く一人前の職員になれるようがんばります!
K・N

中央検査部

正確かつ迅速な検査をできる検査技師になりたいです。
Y・T
チームの一員として、少しでも患者さんのお役に立てるよう頑張ります!
E・K

6 東病棟看護師

わからないことをそのままにせず、確かな知識と技術で看護を行っていききたい。
K・U
多くの経験と笑顔を絶やさず、温かい看護を提供します!
M・A
患者さんのことを第一に考えた看護が行えるように、これから頑張っていきます。
H・S

5 西病棟看護師

技術は未熟ですが、先輩に助言・指導を頂きながら、「誠実な看護」を提供できるように日々頑張りたいと思えます。
A・U
安全・安心な看護を提供できる看護師になれるようがんばります!
H・M

手術室看護師

手術室の看護師として、患者さんが安心して手術を受けられるような声かけや援助を行えるように頑張ります。
S・T
患者さんの手術に立ち会わせていただく看護師として自覚と責任をもち頑張ります。
N・S

4 西病棟看護師

一人前の看護師になるため、努力を惜しまずに頑張っていきます!
K・T
患者さんが入院から退院後の生活を安心して過ごすことができる看護を提供したいです。
A・I

7 西病棟看護師

慣れないことも多く頭がパンクしそうになりますが少しずつ頑張っていきます。
A・K
毎日覚えることがたくさんですが、先輩方と一緒に頑張ります!
A・S

For Healthy Aging , nagasaki rosai hospital

～私たちはヘルシーエイジングに取り組んでいます～



ご存じですか？

人生100年時代を迎えて、当院では健やかに年齢を重ねるために、For Healthy Aging に取り組んでいます。ところで、我々の住む長崎県の方は、健康でしょうか？以前に厚生労働省が発表していた国民健康調査では、少し古いデータになりますが、2014年には長崎県の男性は肥満度が全国1位、女性は全国2位でした（2016年には少し改善しています）。高血圧による疾患で病院にかかっている人数は全国で2位、虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞）では全国1位でした。健康寿命は男性で34位、女性で29位です。長崎県の方は全国平均と比べて決して健康は方とは言えない結果です。ご存じでしたか？

歳をとれば病気になりやすいことは事実です。病気にならないように日頃から自身の健康に注意したり、健康診断を受診することは大切です。しかしもし病気になっても、自身の生活が制限されるような大病に進行しないようにしっかり治療することが大事です。高血圧、糖尿病、高コレステロール血症、あるいはメタボリックシンドロームなどは、決して軽い病気ではありませんが、それ自身では自覚症状が少ない疾患です。ここで疾患の進行を止めてください。治療を怠ると脳卒中、心筋梗塞、腎不全、心不全に進行してしまいます。活動が制限される大病に進行させないでください。

健やかな100歳を目指していきましょう。

Topics

長崎ISLSコース、PCEC/PSLSコースを開催しました！！

6月25日(日)に第42回長崎ISLS コースが当院で開催されました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、しばらく開催を見合わせていた長崎PCEC/PSLSコースも、前日の24日(土)に開催されました。

ISLS(Immediate Stroke Life Support/神経救急蘇生)コースには、医師、看護師、救急救命士が24名受講し、脳卒中の初期診療における観察、評価、処置について、標準化された手順を修得することを目指し、**PCEC(Prehospital Coma Evaluation & Care/意識障害病院前救護)/PSLS(Prehospital Stroke Life Support/脳卒中病院前救護)コース**には、救急救命士、救急隊員、看護師が14名受講し、病院前からの早期治療による脳卒中の予後改善のため、適切な現場処置と情報収集による適切な医療機関への搬送について学びました。どちらも、北川副院長の講義を聴講した後、北川副院長を含め21名のファシリテーターの支援のもとで模擬診療等の実技練習をおこないました。

脳卒中の初期対応、初期診療は迅速さが求められており、それぞれの医療従事者が必要なスキルを修得するために、熱心に受講されていました。

当院では、長崎ISLS コース、長崎PCEC/PSLSコースを継続的に開催しています。対象は医療従事者や消防職員の方々に、脳卒中の初期診療や病院前救護に興味がある方は、是非受講をご検討ください。(次回開催や申し込み等については、長崎ISLS事務局にお問い合わせください。)



口腔ケアについて

「口腔ケア」とは、歯みがきだけではなく、歯茎・舌・粘膜などの口の中から入れ歯まで含めた清掃や、咀嚼し飲み込む機能を持続・回復する口から喉にかけてのリハビリテーションなども含めた幅広い意味でつかわれる言葉です。

当院では、毎週木曜日午後に、歯科衛生士による入院患者さんの口腔ケアラウンドを実施しています。

歯医者さんが虫歯や歯周病を治療した後で口腔ケアをおすすめする理由は、虫歯や歯周病の再発を予防するためだけではなく、

口腔ケアをすると、「虫歯・歯周病の予防」「食欲増進」「誤嚥性肺炎・感染症の予防」「栄養状態の改善」「認知症の予防」などのメリットがあります。

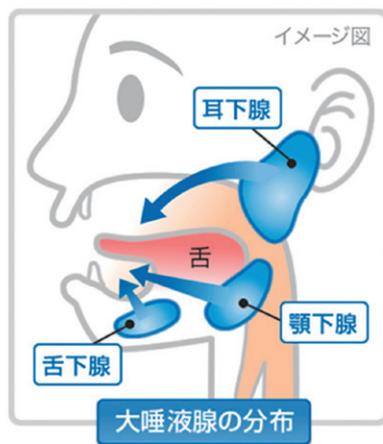
口腔ケアがもたらす影響は非常に大きく、お口の中の環境を整えることは、生活の質の向上になるのです！

唾液には大切な働きがあります。お口を潤すために大切な唾液。お口の中には、唾液の出やすいポイントがあります。

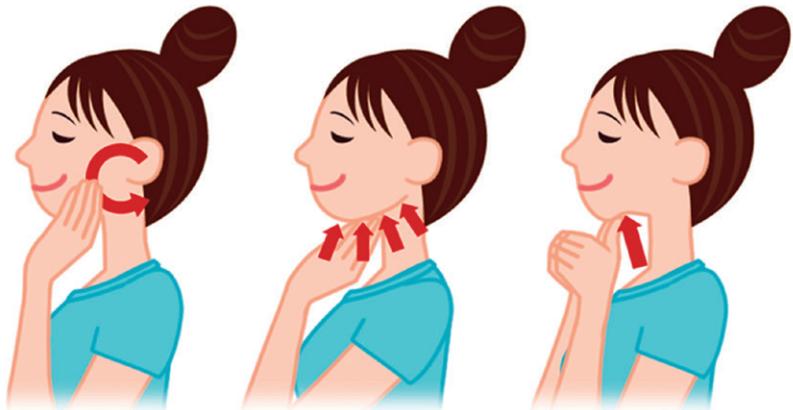
【唾液腺マッサージの紹介】

力を入れずに、指で軽く圧迫するようにやさしくおこないましょう。

[マッサージで唾液腺を刺激]



大唾液腺の分布



1 耳下腺マッサージ

2 顎下腺マッサージ

3 舌下腺マッサージ

1 耳下腺マッサージ

頬に指をそろえて当て、後ろから前へ円を描くようにする。

2 顎下腺マッサージ

顎の内側を耳の下から顎の先に向かって指先で押していく。

3 舌下腺マッサージ

両方の親指をそろえて顎の下に当て、ゆっくりと押し上げる。



消防隊との症例検討会について

令和5年6月27日に当院と消防隊(佐世保市消防局、平戸市消防本部、松浦市消防本部、伊万里・有田消防本部)の方々との症例検討会を開催しました。この症例検討会は、実際の症例に対する検討及び意見交換、ミニレクチャー等を通して、救急医療機関である当院と救急隊員の連携を強化するとともに、救急業務の円滑な遂行を図ることを目的としています。新型コロナウイルスの影響により中止していた時期もありましたが、昨年に引き続き開催の運びとなりました。消防隊の方からは搬送症例等についての報告や質問があり、それに対して回答するとともに、当院からも症例発表とミニレクチャーを行いました。このような検討会を継続し、救急需要に対する迅速かつ的確な対応につなげていきたいと思っております。



ヘルシーエイジングとは、「[健康寿命]を伸ばして自立して生活できるように年を取る。」という意味です。近年、医療の進歩や薬の開発により男女の寿命は80代ですが、最近では100歳を超えている方も少なくありません。日本の平均寿命は世界第1位とされています。寿命は伸びても、病気で体は薬漬け、寝たきり、認知症、要介護状態…では、心身も経済的にも、また支える家族の負担も凶り知れません。

また、ここ数年には生活習慣による心筋梗塞や狭心症の増加と高齢化による高血圧や弁膜症の増加が原因となり、心不全患者が急増しています。罹患率は高齢になればなるほど高く、患者数の増加が予想されています。我が国において心不全患者は約120万人いると言われていたのですが、少なくとも2035年までは増え続け132万人程度になると推定されており、こうした状況を「心不全パンデミック」と呼びます。

我々、循環器リハビリチームは、運動療法の実施時の注意点を考慮しながら取り組んでいます。日常生活動作や身体活動には筋力や筋持久力の維持・向上が重要です。

これからは「いかに人生のうちの大部分を健康でいられるか」ということを真剣に考え、実践する必要があります。運動を行うことは健康のためにも大事なことです。軽い負荷から行える短時間の運動でも構いません。我々と一緒に取り組んでみませんか？



「労災フィッシングクラブ(非公認)」

中央検査部 川内 匡

2020年からコロナ禍で様々な行動が制限され、3密を回避し遊ぶ手段としてアウトドアを趣味にする人が増えたと言われております。私も流行に乗り、以前からしていた釣りを本格的に始めました。

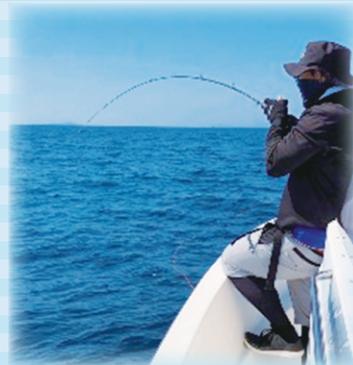
最初は中央検査部2、3名で釣りに行っていました。徐々に仲間が増え、今では中央検査部以外でも仲間が出来ました。LINEグループで労災フィッシンググループを作って釣りはじめ色々な情報を共有して楽しんでいます。

中央検査部には6名のメンバーがおり、中央検査部以外にも看護部、中央放射線部、中央リハビリテーション部、太平ビルサービスと多くの部署に少人数ですがメンバーが在籍中です。

同じ場所でも季節が違えば釣れる魚は変わってきます。常に環境やタイミングを読み、魚とやり取りを行っていくのが釣りの面白いところです。自然を感じリラックスも出来、魚が釣れたら興奮もできる素晴らしい趣味だと思います。

皆さんはコロナ禍でどのような方法でストレス発散していましたか？

一部ですが楽しく釣行(釣りに行く)している写真をご覧ください。



各科外来診療担当医師一覧表

2023.7.1 現在

診療科	曜日	月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
一般内科	新患	本田章子 卜部繁俊		吉村映美 延末謙一		後藤貴史		池田 徹 北川瑞希		山領 豪	
	再診	山領 豪	後藤貴史	池田 徹 卜部繁俊		延末謙一 北川瑞希		本田章子 肝臓専門外来 (予約)		後藤貴史 吉村映美	
循環器内科	新患	山佐稔彦		谷真太郎		吉田 智		山佐稔彦		谷真太郎	
	再診	山佐稔彦				山佐稔彦		山佐稔彦			
外科	新患	前田茂人	岡本辰哉 (急患紹介)	岡本辰哉 前田茂人	岡本辰哉 (急患紹介)	岩田 亨	岩田 亨 (急患紹介)	岩田 亨 岡本辰哉	岩田 亨 (急患紹介)	橋本敏章	橋本敏章 (急患紹介)
	再診	岩田 亨 前田茂人		岡本辰哉 前田茂人		岩田 亨 橋本敏章		岩田 亨 岡本辰哉		橋本敏章 久保飛翔	
乳腺・甲状腺外来			○ (要確認)				○ (要確認)				
整形外科	新患	鳥越雄史 吉田悠哉 貞松毅大		今井智恵子 高橋良輔 藤池 彰	馬場秀夫 (セカンドオペニオン) (第4週のみ)	郷野開史 井上孝之 橋口元一		馬場秀夫 田中奈津美 弦本直治		神崎衣里 樋口尚浩	
	再診	馬場秀夫 田中奈津美		貞松毅大 神崎衣里 樋口尚浩		鳥越雄史 今井智恵子 吉田悠哉		郷野開史 藤池 彰 橋口元一		高橋良輔 井上孝之 弦本直治	
形成外科		今泉敏史		今泉敏史		今泉敏史				今泉敏史	
脳神経外科		廣瀬 誠	廣瀬 誠 (脳ドック) セカンドオペニオン 外来	北川直毅 高平良太郎		北川直毅		廣瀬 誠 前田 肇		前田 肇	
皮膚科				梶田章恵		(非常勤)				梶田章恵	
泌尿器科		左川 遼 スッキリ 排尿外来		大坪亜紗斗		酒井英樹 スッキリ 排尿外来		左川 遼		大坪亜紗斗 スッキリ 排尿外来	
眼科		和田光代		和田光代		和田光代		和田光代		和田光代 長崎大学 (非常勤)	
耳鼻咽喉科				長崎大学 (非常勤)				長崎大学 (非常勤)			
リハビリテーション科						田中奈津美 (完全予約制)				田中奈津美 (完全予約制)	
放射線科		川原康弘		川原康弘		川原康弘		川原康弘		川原康弘	
麻酔科		大路牧人 大路奈津子		大路牧人 大路奈津子		大路牧人 大路奈津子		大路奈津子 卜部繁彦		大路牧人 大路奈津子	

※ ○ (要確認) : 予約のご相談が可能です。外科外来にご確認ください。



独立行政法人 労働者健康安全機構
長崎労災病院
 発行責任者 酒井 英樹

〒857-0134 佐世保市瀬戸越2丁目12番5号
TEL 0956-49-2191 FAX 0956-49-2358
www.nagasaki.johas.go.jp

【受付時間】 新患/午前 8:15~午前 11:00
 再来/午前 8:15~午前 11:00
 【休診日】 土・日曜・祝日(振替休日を含む)・国民の休日
 年末年始(12月29日~1月3日)

※救急患者はこの限りではありません。

